

令和7年度 ESD/SDGs 津谷中学校 総合的な学習の時間（向が丘楽習） グランドデザイン

【生徒の実習】		【学校教育目標】		【保護者の願い】	
・明るく柔軟な性格であり、上級生やリーダーを中心 にまとまるの行動ができる。 ・自尊感情がやや低く、成功体験が乏しい。 ・意を積極的に発表することに苦手意識がある。 ・授業では、単元内自由度で学習をより組んでおり、 課題を兎付け、進んで学習に取り組む生徒が多い。		創造的で、自律し、対話・協働で進む生徒の育成		・自分の考えを持って課題に取り組み、友達と協 力して活動に励んでほしい。 ・将来の見通しを持ち、将来なりたい職業を見据 えた基礎的な学力を身に付けて、その力をもとに挑 戦してほしい。	
【地域の実習】		探究的な見方・考え方を駆使して、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考え ことができるようするために、以下の資質・能力を育てる。		【地域の願い】	
地域の人、もの、ことに関する探究的な学習の 過程において、課題の解決に必要な知識及び技 能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに 気付き、それらが人々の努力や工夫によって支 えられていることに気付く。		地域の人、もの、ことのからかいで見ていた い、その解決に向けて情報を立てたり、調査し て得た情報を基に考えたりする力を身に付ける とともに、考えたことを、根拠を明らかにして まとめ、表現する力を身に付ける。		・地域のよさを知り、地域を支える人材として 成長してほしい。 ・地域の企業や人材を利用して、学習に取り組ん でほしい。	

時間	月	日(曜日)	時数	大項目	内容項目	内容			講師 主な内容	担当 及び 講師	input/output	SDGs、ESD、海洋教育との関連	
						1年	2年	3年					
1	4月		1	ガイダンス	回数	1年間の流れ・計画について 海のこと学習の1つのきっかけ 問題をどう考える			ESD・総合的な学習の時間	input			
2					講話	VUCA・SDGs・Society5.0 なぜ、このような学習が必要なのか			全校	input			
3			3	地域を知る	講話	地域を知る 自然・地理・歴史・海洋 防災			歴史・海洋 防災	小原史談氏・野寺祐紀先生 氣仙沼市危機管理課	input		
4					講話	①講話によるインプット ①課題の設定 → ②情報の収集（基礎的な調べ学習）			海のこと全般	東北大學 須田利雄先生	input		
5					講話	②講話によるインプット ①課題の設定 → ②情報の収集（基礎的な調べ学習）			地球温暖化	ケンタロ・オノさん	input		
6					講話	③講話によるインプット ①課題の設定 → ②情報の収集（基礎的な調べ学習）			川	氣仙沼海のアドベントプロジェクト 谷山知宏先生・村上亮介先生	input		
7					講話	④講話によるインプット ①課題の設定 → ②情報の収集（基礎的な調べ学習）			海のデザイン	3710Lab. 田口康太先生	input		
8					講話	⑤講話によるインプット ①課題の設定 → ②情報の収集（基礎的な調べ学習）			KUBI	佐藤東児さん・鈴木京一郎さん お茶の水女子大学・里浩彰先生	input		
9					講話	⑥講話によるインプット ①課題の設定 → ②情報の収集（基礎的な調べ学習）			海ごみ	学年グループ（ゼミ形式）	input		
10					講話	⑦講話によるインプット ①課題の設定 → ②情報の収集（基礎的な調べ学習）							
11					講話	⑧講話によるインプット ①課題の設定 → ②情報の収集（基礎的な調べ学習）							
12					講話	⑨講話によるインプット ①課題の設定 → ②情報の収集（基礎的な調べ学習）							
13					講話	⑩講話によるインプット ①課題の設定 → ②情報の収集（基礎的な調べ学習）							
14					講話	⑪講話によるインプット ①課題の設定 → ②情報の収集（基礎的な調べ学習）							
15			2	発表	課題発表会	①研究課題の発表 → 質疑・応答			グループ（ゼミ形式）	output			
16					情報の収集1	②情報の収集（調べ学習） フィールドワーク 等			グループ（ゼミ形式）	input			
17					情報の収集2	③情報の収集（調べ学習） フィールドワーク 等			グループ（ゼミ形式）	input			
18						資料収集やフィールドワークを行う、探究学習コーディネーターのアドバイスを受けるなど、有効に活用する							
19						④情報の収集3 整理・分析			グループ（ゼミ形式）	input			
20						⑤情報の収集4 整理・分析			グループ（ゼミ形式）	input			
21						⑥情報の収集5 整理・分析			グループ（ゼミ形式）	input			
22						⑦情報の収集6 整理・分析			グループ（ゼミ形式）	input			
23						⑧情報の収集7 整理・分析			グループ（ゼミ形式）	input			
24						⑨情報の収集8 整理・分析			グループ（ゼミ形式）	input			
25						⑩情報の収集9 整理・分析			グループ（ゼミ形式）	input			
26						⑪情報の収集10 整理・分析			グループ（ゼミ形式）	input			
27						⑫まとめ表現1			グループ（ゼミ形式）	output			
28						⑬まとめ表現2			グループ（ゼミ形式）	output			
29						⑭まとめ表現3			グループ（ゼミ形式）	output			
30						⑮まとめ表現4			グループ（ゼミ形式）	output			
31						⑯まとめ表現5			グループ（ゼミ形式）	output			
32						⑰まとめ表現6			グループ（ゼミ形式）	output			
33						⑱まとめ表現7			グループ（ゼミ形式）	output			
34						⑲まとめ表現8			グループ（ゼミ形式）	output			
35						⑳まとめ表現9			グループ（ゼミ形式）	output			
36						㉑まとめ表現10			グループ（ゼミ形式）	output			
37						㉒発表			グループ別発表会	input			
38						㉓まとめ表現			④まとめ・表現（発表）	input			
39						㉔まとめ表現			⑤まとめ・表現（修正や訂正）	input			
40						㉕発表			⑥まとめ・表現（発表） ※お世話になった事業所や地域の方、保護者も参加する。	input			
41						㉖発表			⑦まとめ・表現（発表） 会員登録会	input			
42						㉗振り返り			ルーブリックによる振り返り、オープン・パンダの記述	input			
43						㉘振り返り			学年	output			
44						㉙振り返り							
45						㉚振り返り							

*大項目・内容の①~⑩は、「探究的な学習における生徒の姿（文部科学省）」に対応

【各学年の取組】					
【1学年】 (5時間)	○職場体験を通じた探究的な学び ・様々な職業を探し、将来の職業選択へ生かす。 ・職場体験を通して、将来的自立や自己実現を考え、意欲を持つ。 ・修業時間に生じる態度を育む。 ・働くことの意義や責任を感じさせて、適切な職業観や勤怠観を育む。 ・将来について考えを深める。	【2学年】 (2.5時間)	○山台海岸を通じた探究的な学び ・体験活動を通して、お互いのよさに気付き、認め合い、協働して取り組む力を養う。 ・修業時間を見据えて、地域で広がった思考の深まりや地域の絆を越えた課題解決実践を行なう。 ・修業時間を見据えて、地域文化に親しみを持ち、伝統を大切にしようとする心情を養う。 ・体験活動を通して、地（人や文化、行事）との関わりについて学び、地域の一員である自觉を持たせる。	【3学年】 (2.5時間)	○遠足旅行を通じた探究的な学び ・首都を直接見聞きし、視野を広げ、総合的な学習の時間の深化拡充を図る。 ・修業時間を見据えて、お互いのよさに気付き、認め合い、協働して取り組む力を養う。 ・修業時間を見据えて、地域文化に親しみを持ち、伝統を大切にしようとする心情を養う。 ・体験活動を通して、地（人や文化、行事）との関わりについて学び、地域の一員である自觉を持たせる。
【学習活動】	・地域の実習、生徒の実習を踏まえ、探究課題を設定する。 ・地域の人材やものを生かした学習活動を行う。 ・学習成果を表現する場として、文化祭を活用する。	【指導方法】	・各教科との連携 ・体験活動を重視する。 ・個別に応じた指導の工夫を行う。 ・協働的な学習活動の充実を図る。	【指導体制】	・全校指導体制を組織する。 ・タブレットの活用及び図書室・図書館の活用を図る。 ・地域の方々と日常的に関わりを持つ。 ・コミュニケーションスクール
【各教科等との関連】	・学ぶ意欲と情熱を育む力向上 ・探究的な学びの素地を養う ・協働的な学習場面の設定 ・分かる授業、活気のある授業の基盤開 ・知識及び技能の確実な習得と活用	【道德教育】	・特別の教科 道徳の時間を要として、思いやり心を育む ・指導の重点項目 「真理の探求、創造」「忠いやり、感謝」「社会参画、公共の精神」「相互理解、対応」	【特別活動】	・集団活動に自動的、実践的に取り組み、お互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決する。 ・合意形成や意思決定できるようになる。 ・役割を分担して協力して実践する。
【幼稚園や小学校との連携】					○幼稚園、小学校との連携 ・ESD・海洋教育、海洋学習に関する研修を行う。 ・探究学習に関する研修を行う。 ・情報交換を定期的に行なう。 ・体験活動を行う。